

【東京都】株式会社ワンプラネット・カフェ ～SDGsすべてに貢献するバナナペーパーを生産・販売～

企業概要

URL : <http://oneplanetcafe.com/paper/>

- 2012年創業、人と地球の持続可能性の追求を経営理念として掲げる企業。ザンビアでの社会・環境課題解決のために、バナナペーパー（商品名：ワンプラネット・ペーパー®）事業を行なっている。加えて、本業であったサステナビリティをテーマとしたコンサルティング、SDGs取り組み視察・研修ツアー（スウェーデン、ザンビア）の事業も展開。
- 世界の共通言語であるSDGsへの取組を通じて、日本とアフリカのパートナーシップづくりを実現している。

企業情報			
企業名	株式会社 ワンプラネット・カフェ		
代表者	代表取締役社長 エクベリ 聡子		
設立年	2012年	従業員	20人
資本金	800万円	業種	製造業(パルプ・紙・紙加工品製造業)
本社所在地	東京都港区芝公園2-11-13 レック芝公園1101号		
事業概要	バナナペーパーの生産・販売、コンサルティング、視察・研修ツアー		
電話番号	03-5776-6228		



(株)ワンプラネット・カフェ
エクベリ聡子代表取締役社長

SDGs達成を通じた取組



【経緯・背景等】

- 貧困問題が深刻なザンビアで、人々の教育支援、職業スキル研修を行いながら、より直接的に雇用を生み出す事業を探している中で、廃棄されているバナナの繊維から紙を作ることができることを知る。ももとの本業とは異なる領域の事業であったが、日本の名刺メーカーと協力し、バナナペーパーの生産・販売を開始。毎年切られて廃棄されるバナナの茎の繊維を木材の代替材として用いることで資源を有効活用し、ものづくりを通じた生態系保全に貢献している。SDGsが自社の企業経営・ビジネスと親和性が高く、SDGsへの貢献が商品価値を高めることにもつながるという考えから、SDGsを指標とした取り組みを強化。バナナペーパーがSDGsすべてに貢献する商品としてアピールするなど、マーケティングにも活用している。

【具体的な取組、製品・サービス】

- ザンビアで、オーガニックバナナ農家から廃棄される茎を買い取り、バナナペーパー工場で雇用を生み出しながら、繊維を絞り乾かす。その後、繊維を日本の福井に送り、越前和紙の技術を活用し、少ないエネルギーや水で紙を生産している（和紙の伝統技術の継承にも貢献）。日本の印刷会社や紙製品メーカーと共に協議会を立ち上げ、様々なバナナペーパー商品を開発。ザンビアでは、シングルマザーなどの社会的弱者の雇用にも力を入れている。その他、現地の子どもの教育支援、ソーラーランプの普及、マラリア予防のための教育と蚊帳の設置、安全な水の提供などで、現地の暮らしを直接または間接的に支えている。また現地では、貧困が野生動物の密猟や違法の森林伐採にもつながるため、その防止にも役立っている。
- バナナペーパーは日本初のフェアトレード認証の紙である。フェアトレード商品等を取り扱うオンラインショップも展開し、消費者に対してエシカル消費を提案している。
- 企業向けのSDGsをテーマにした講演・ワークショップ、コンサルティング、ザンビアやSDGs先進国スウェーデン視察ツアーなども実施。自社の本業を通じてSDGs達成に取り組むとともに、国内外の企業に向けてSDGsの普及促進にも取り組んでいる。

【取り組んだ成果・効果】

- バナナペーパーを推進する「ワンプラネット・ペーパー協議会」（参加企業21社 - R2.04月現在）のメンバー企業と共に、バナナペーパー製の名刺、証書、ノベルティなど、幅広い製品を開発。これらの製品はSDGsに関心のある多くの企業で採用。バナナペーパーは、SDGsに貢献する商品として、高校の教科書や各種メディアに取り上げられ注目される。

【貴社にとってのSDGsと、その展望】

- SDGsの2030年に向けて、社会や市民が企業に望むことも変わりつつあり、今後さらに加速すると考えられる。事業を通じてSDGsに取り組むことは、同じ価値観を共有する企業同士や消費者とのパートナーシップが生まれ、より良い社会づくりと事業発展を両立させると確信している。今後さらにパートナーの輪を広げ、SDGsへの貢献度合いを高めていきたい。



SDGsに貢献する
バナナペーパー工場



多くの企業に利用される
バナナペーパー名刺



視察ツアーの様子